公務員合格体験記

法学部法律学科　鈴木穂乃華

▪合格した職種

札幌市職員（一般事務）に合格しました。

▪大学4年間のうち、各学年で公務員試験に向けてどのような勉強をしていたか

１、２年生の時はまだ公務員を志望していなかったので、公務員試験に向けた勉強に取り組んではいませんでしたが、大学の法学科目の講義や、法学検定試験のベーシック・スタンダードコースの受験勉強は、かなり役に立ったと思います。

３年生の時にLECの学内公務員講座を受講しました。はじめのうちはスケジュール通りに受講していたのですが、勉強のモチベーションもあまりなく、アルバイトを多くいれていたので、だんだんと行かなくなってしまいました。反省しています。大学で公務員対策講習の講義を受けていたので、数的処理・判断推理の勉強はそこそこできていたかと思います。

４年生になる頃にさすがに勉強しなきゃと焦り始めました。やっとです。３年次で必要単位を取り終えていたので、試験勉強だけに集中することができました。

文章理解は現代文と英語それぞれ問題集で一日一問解くようにしていました。資料解釈は苦手だったのでほぼ諦めてました。

数的処理は一日３～５問くらい解くようにしていました。毎日はやれなかったです。判断推理は好きだったので気分転換でたまに解くみたいな感じでした。

専門の選択科目は憲法と民法、行政法だけ勉強していました。LECのWeb講義を見て内容を理解し、それから問題集を解くというのを繰り返していました。頻出問題を重点的にやりました。

▪公務員試験を受ける上で役に立った大学の講義

・公務員対策演習A～G

SPI試験対策にもなるということで公務員を目指す前からも履修していました。数的処理、判断推理、歴史、地理なでを勉強できます。公務員試験勉強の土台になったと思います。

・職業と人生A～D

就職活動をする上で必要な知識やスキルを学ぶことができます。面接対策として役に立ったと思います。

▪勉強がつらい時期があったか、またそれをどう乗り越えたか。

本格的に試験勉強に取り組んだ時期が遅かったので、周りの受験者に追いつくためにはその何倍も努力が必要だと感じ、やらなきゃいけないというプレッシャーで勉強がつらく感じていました。そんな時は、好きなものを好きなだけ食べるなど、勉強以外のストレスをなくすようにしたり、ここまでやったら欲しいものを買おうなどご褒美を用意したりしました。あとは、試験が終わった後のことを考えて、やりたいことリストを作ったりしてモチベーションを上げていました。今まで勉強を怠ってたこともあり、直前期は残りの勉強時間が少なく焦りと不安を感じていましたが、勉強がつらくなったときは、３０分仮眠をとったり、ちょっとスマホで動画を見たり気分転換したほうが、頭が切り替えられて集中して勉強できました。思い切って一日勉強しないのもありだと思います。

▪平均して1日何時間くらい勉強したか。また、筆記試験前は１日何時間くらい勉強したか。

３年生までは大学の授業を受け単位をとることが何よりも優先だったのと、アルバイトに時間を多く費やしていたので、LECの講義以外で公務員試験の勉強をすることはあまりなく、やらない日がほとんどでした。正直１日２時間やればいい方でした。

アルバイトを５月のゴールデンウィークまで続けて、その後はとにかく机にむかいました。睡眠とご飯、お風呂、買い物以外の時間は勉強するようにしていたので、平均して１５時間くらいしていたかと思います。もちろん毎日は無理で、この日は一日遊ぶ日と決めてやらない日もありました。

▪役に立った教材

LECの過去問解きまくりで勉強していました。それ以外で特別参考書を買うことはなかったです。あとはLECで模試の過去問をいただいて、本番のように時間を測って解いていました。

▪大学時代にもっと取り組んでおけばよかった、勉強しておけばよかったと思うこと

サークル活動をしたかったなと思います。コロナ禍で思っていたような大学生活を送れず、ポランティアなど課外活動も特にしていなかったので、面接でのエピソードとして使えたらもっと楽だったと思います。、面接ではアルバイトの話ばかりになってしまいました。あとは、もっと早く試験勉強をしていれば良かったなと思います。

▪面接の内容

基本的に面接カードに沿った質問でしたが、書いた内容についてかなり深堀されることもありました。

・どうして札幌市職員を志望するのか、札幌市の魅力はどこか

・やってみたい仕事や分野、それについて今どのようなことが課題か、またそれの解決法

・若手職員の離職率について、その原因と解決法

・自分の長所や強み、またそれを仕事にどのように活かせるか

・窓口業務でクレームなどがあったときの対処法、そのようなときにストレスを感じるか、精神的につらい仕事ややりたくない仕事もあるかもしれないが大丈夫か、ストレス解消法はあるか

▪面接対策としてやっておいた方が良いと感じたこと

説明会には必ず参加すること。HP等で情報を得るようにすること。テレビでもネットの記事でもいいのでニュースを見る習慣をつけること。

面接練習は全くしませんでした。理由はやりたくなかったから、あとは想定される質問に対する自分の回答を事前に考えておけばそれで十分だと思ったからです。実際の面接では想定していない質問ももちろんあったので言葉に詰まったりもしました。本番の緊張感を緩和するためにもやはり面接練習は必要だと思います。

あとはアルバイトやサークル、部活動など自分の強みを話せるエピソードは必要なので、勉強以外に何かに打ち込むことが大事だと思います。

▪就活についてのアドバイス、最後に後輩たちへメッセージ

試験勉強を始めた時期も遅く、面接練習もせず、なぜ受かったのか私も不思議に思います。１次の筆記試験は、直前に専門科目ばかり勉強していたのでここで点を稼ごうと思っていたのですが、民法、行政法は正直自信のある問題は１個もなかったです。分からないのはどうしようもないので、適当にマークして試験時間最後の１０分ぼーっとしてました。これは落ちたなと思いました。憲法は多分できていたのと、数的処理と判断推理は思っていたよりも難易度が低く感じたのでそこでカバーできたのか分かりませんが、筆記試験を突破できたのは実力よりも運だったと思います。勉強を始めるのは早ければ早いほど良いので、みななんは実力で合格してください。面接はとにかく愛嬌が大事です。賢いことをいう必要はないです。堂々としていればなんとかなります。面接練習は絶対した方がいいですが、説明会への参加や、HP等を見てその仕事についてよく知ることが一番大事だと思います。あとは、学業以外でアルバイトでも部活でもなんでもいいので自分の強みをつくっておきましょう。最後に、こんな私でも合格できたので、どんな状況でも諦めなければ誰にでも合格の可能性はあります。授業やアルバイト、サークルなど忙しいと思いますが、自分のペースで頑張ってください。